

事例紹介

千葉県袖ヶ浦市立 根形中学校



eライブラリの有効活用で授業が変わる！

～個別指導や、家庭学習にも～

千葉県袖ヶ浦市では、ICT機器を活かした教材研究が盛んに行われています。今回はその中から、学力向上を目指して全学年でeライブラリを活用している根形中学校の取り組みをご紹介します。

習熟

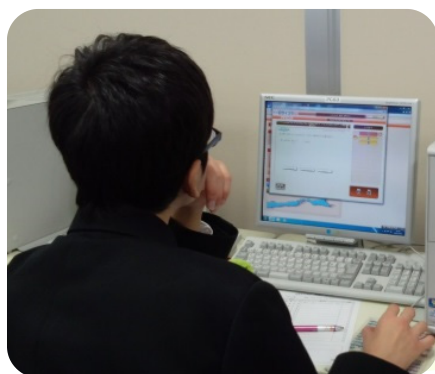
りれきドリル+ワークで効果アップ！

情報主任の菅野学先生は、2年生の英語科で文法のまとめに「りれきドリル」を活用しています。授業の工夫についてお話を伺いました。



すがの まなぶ
菅野 学先生

● つまづきやすい文法のまとめに！



限られた時間の中で効率よく定着を図るために、菅野先生は「不定詞」や「比較級」など生徒がつまづきやすい単元に絞ってりれきドリルでの学習を行っています。

りれきドリルなら間違えた問題に何度でも取り組むことができるため、反復学習させたい文法の演習に適しているのだそうです。また、授業でりれきドリルに取り組み、さらに宿題でワークの教材にも取り組むことで、数多くの問題に触れ、文法を確実に身に付けさせたいというねらいもあります。

● 穴埋め問題が早く解けるようになった！

学習効果を高めるため、「少し間を空けて使用するのも、意欲アップのためのポイントです」と菅野先生。先生の狙い通り、まとめにやってくるドリル学習の時間を生徒は楽しみにしており、集中して意欲的に取り組んでいるそうです。

このドリル学習を始めてからは、基本的な文法・語法の定着に加え、穴埋め問題を早く解ける生徒が増えたという嬉しい効果も見られました。



■豊富な文法問題で、正確に判断し「選ぶ力」を身に付けます

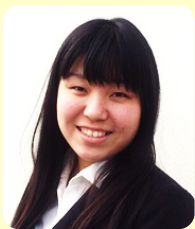
● 宿題に使える単元別プリント！

宿題には、ワーク教材に加えて「中学校プリントパック」の単元別プリントを配布しています。単元別プリントは難易度が分かれていることや、職員室の校務用PCからすぐに印刷できることから、手軽に使える補充教材として役立っているそうです。

特別支援 外国人生徒への日本語指導に

根形中学校の特別支援学級では、個別指導や外国人生徒への日本語指導にもeライブラリを取り入れています。担任の小坂美里先生に効果についてお話しを伺いました。

特別支援学級 担任 小坂 美里先生のお話



操作の入り口がわかりやすく、9学年分の5教科の学習ができるeライブラリは、同時に複数の学年や科目を指導する特別支援学級には欠かせない教材です。生徒一人一人に合わせた学習ができるため、教材準備の負担が大きく減りました。

また、**外国人生徒の日本語指導にeライブラリを使うようになってから、着実に日本語が上達しました。**日本語の読み書きが難しくても、PC操作は堪能なため、楽しみながらドリルに取り組んでいます。特に、**小学校の内容の国語のドリルが効果的**です。すぐに正誤が分かるので「できるようになった」と達成感を得やすいことも、自信につながっているように思います。

家庭学習 学力向上の取り組みとして

全生徒に家庭学習サービスを案内している根形中学校では、冬休み前に使い方を教える体験講座を開いたり、保護者にも紹介したりと運用を工夫しています。

● 体験講座で学習意欲を高める



家庭学習体験講座では、サイトの開き方や学習方法を学び、自分で教材を選んで学習します。集中してドリルに取り組む生徒や入試の過去問題に挑戦する生徒も。

特に3年生は、**全国の入試過去問題を見て、さらに学習意欲が高まった**ようです。

毎年12月の保護者面談の時期になると、「**どのように家庭で学習させればよいのか**」と不安を抱えた保護者からの相談が数多く寄せられます。**学校で家庭学習の手段を増やし、学習方法を指導することで、保護者の不安を軽くする**というねらいもあるそうです。

感想
問題が、バラとでてくるので、頭にすぐ入ってきて、わかると嬉しいです。また、わからなかった問題も、リトライすることができ、確実に勉強ができるので、すごいと思いました。活用していきたいと思っています。

***感想**
家で活用したいと思はれたので、チャレンジして入試に向けた取り組み、入試後も活用してやります。

■生徒の感想

(3)

勉強のやり方が今一わからないようです。宿題なども小学生の頃よりも少なくなり、どうしてよいかわからない様子。その辺をもう少し伝えてもらえるとありがたいです。

(3)への回答

「勉強のやり方がわからない」という部分に対しては、「個々に状況が違うため、具体的な方法については個別に相談して頂くことで具体策が立てられます。また、今年12月よりご家庭用PCで気軽に家庭学習ができるようにと、『eライブラリ』という家庭学習サイトを袖ヶ浦市として導入し、それを活用するための講座を全校生徒に受けてもらっております。問題集のような形式になっており、回答だけでなく、解説も詳しくされていますので、家庭学習でぜひ活用していただければと思います。また、お子さんが勉強をする時間、勉強をせざるを得ない時間を家庭でも作る努力をしていただくことが大切だと思います。」

■学校便りで家庭学習を紹介した記事（一部抜粋）

教頭 林 健司先生のお話 ～学力向上に向けて学習手段を増やす～



学力向上のためには、学校として様々な学習手段を持っていなければなりません。生徒一人一人苦手な教科が異なる中で、個々に合った学力を身に付けさせるには、**生徒が自分で苦手を見つけ、やりたいところに集中して取り組める教材が必要**です。それができるのがeライブラリです。

eライブラリをいつでも使えるようにしておくことで、**学習内容の定着を図ったり、受験対策や特別支援学級など様々な場面で学習効果が期待できます。**さらに、先生の授業準備の負担も軽減されるので、まずは先生が使い方を覚え積極的に使ってみる事が大切です。使ってみれば、その効果が分かります。